

魚津市男女共同参画地域推進員連絡会 イクボスインタビュー

- 日時 1月24日（月）
午後3時～午後4時
- 会場 朝野工業株式会社
- 対応 代表取締役社長 朝野智之 様
社員2名様



宣言についてどのように考えていますか？

朝野社長

自分自身も家庭を持ったときに、仕事と家庭は切っても切り離せないものでした。車の両輪のような感じで、片方がうまくいかないとしてももう片方にも影響が出てくる。両方がスムーズに回っていくことが、社員にとって一番理想であると思います。

色々な家庭の事情であったり、その人の仕事に対する考え方もいろいろあったりで、例えば、給料が多いことが一番と思う人もいれば、休日をしっかり確保することが最優先と思う人もいて、会社としても幅広い要望に柔軟に対応していくべきであると考えています。そのような中で、まさにイクボス宣言は要望に対応するために必要なものでした。

宣言をされた後、事業所ではどのような取組をされましたか？

朝野社長

正直なところ、イクボス宣言をしたからどうしようということもなくて……。

我々の業界は昔からガテン系で3K（きつい・汚い・危険）の代名詞と言われていて、それは良くないということで、改善するために新3K（給料・休日・希望）であったり、働き方改革であったり、ワークライフバランスもそうですし、解決策のひとつとしてのイクボス宣言です。

休日を確保するためには生産性を上げなければならないので、ICTを測量の器械や建設機械、社内のコミュニケーションツールに積極的に取り込んで休日をなるべく確保できるようにする。そうすることで、育児休暇も取りやすくなることにつながるのかなと。

最近、土曜日に作業していない工事現場が増えていると感じられる方もいらっしゃると思いますが、週休二日制についても発注者から背中を押してもらっています。現場監督も週休二日制の現場で体が慣れてしまうと、土日に作業しないようにするにはどうするか、平日の働き方を工夫するアイデアも出てきています。

話は変わりますが、弊社はゴルフ好きの社員が多くて、社員内で「ゴルフやろうよ！」の

声掛けが凄い。昔は「趣味は何ですか？」の問いかけに「趣味は仕事です」と答えることがカッコイイというようなこともありましたが、今どきそれはダメな考え方だと思います。土日にゴルフをしたいがために、平日のあいだにどうやって仕事を終わらせるかという考え方や工夫が、生産性の向上になっています。

イクボス宣言をされたと聞いてどのように思われましたか？

総務部 加藤さん（5年目）

イクボス宣言の窓口、事務的な手続きの担当をさせていただきました。

今回のイクボス宣言は、たまたまこのタイミングで出すことになったただけだと感じています。

というのも、働き方に対する取り組みは以前からやっていて、たとえば家庭の都合で早く帰らなければならない、あるいは少し遅れて入社だとか、そういったものには私が入社する前から柔軟に対応していました。休日についても、土曜日は隔週で出勤でしたが、2017年から毎週土日休みの完全週休2日制になり、年間休日もそれにあわせて増えました。

もともと弊社には「やる時はやる、遊ぶ時はとことん楽しく」という社風があり、仕事に余裕がある時はどんどん休むよう上司からも言ってもらえます。そういった効果もあって、昨年の弊社の有休取得率は約65%と、建設業全体の平均より高くなっています。おかげさまで私もちょくちょく休みを取らせていただいています（笑）

また、今まで出退勤や残業・有休の申請などは紙ベースで行っていましたが、それらをスマホで管理できるようになりました。ほかにもオンライン会議の開催やクラウドサーバの導入など、生産性向上のためにICTを積極的に取り入れています。

総務部 水島さん（10年目）

もともとノー残業デーや週休二日制は早い段階で取り組まれていたし、お子さんの行事に出席するためにだれもが有給を取得できていたので、イクボス宣言をしたことは意外ではなくて、より一層柔軟に対応していただけるのかなと思っています。

宣言後の事業所内の様子に変化はありましたか？

総務部 加藤さん（5年目）

今までも色々取り組んできた中でのイクボス宣言なので、すぐに変化があったということもないのですが、じつは今日から男性社員が一人、育児休暇を取得しています。弊社として初の育児休暇で、とりあえず一週間取得予定です。

今後、イクボスとして進めていきたい取組はありますか？

朝野社長

半日単位で有給取得は行っていますが、もっと進んで一時間単位でもいいのではないかと考えています。しかし、それをすることによって総務の人の仕事量が増える可能性もあるのですが……。3時や4時に用事があって、少し仕事を離れたいということはきっとあると思います。もちろん、用事があれば半日休んでいただいても構わないのですが、制度として整っていたら休みが取りやすくなるのでしたら、ありなのかなと思います。

もともと柔軟に対応してきたことを、より社員が使いやすくなる空気作り、制度作りが大切だと思います。現場の人が仕事をしやすいようにクラウドサーバを使ったり、web会議をしたりデジタル化も進んでいます。

職種的に男性が多い職場だと思いますが、女性の社員も増えてきていますか？

朝野社長

入ってきてほしい！採用したい希望はありますが、そもそもの女性の技術者が少ない……。建設業界としても、男女関係なく採用したいと思っている会社は多いと思います。

現場でスコップを持って泥だらけになるもの建設業ですし、パソコンを使って図面を描くことや、発注者の方に申請書類や工事完了の証明書類を作成することも建設会社の仕事です。女性だからできないということはありません。女性目線のきっちり細かい作業が必要になることもあります。

